

「総合研究Ⅰ・Ⅱ」 講義概要

<b>授業科目名</b>		ヘルスツーリズム総合研究Ⅰ・Ⅱ		<b>担当教員名</b>		石田 高明	
<b>コース名</b>		ヘルスツーリズムコース					
<b>科目区分</b>			<b>単位</b>	<b>配当年次</b>	<b>実施時期</b>	<b>曜日・時限</b>	<b>形態</b>
コース別専門科目		選択必修	Ⅰ：2単位 Ⅱ：2単位	4	Ⅰ：春学期 Ⅱ：秋学期	別途案内	講義
<b>授業概要</b>							
<p>ヘルスツーリズムという用語の概念は現在のところ明確ではないが、本講義では広義のヘルスツーリズムとして、トラベルヘルスと解釈して捉える。</p> <p>必修科目であったトラベルヘルス基礎、トラベルヘルス応用から、実践研究で仕上げた知識の集大成の最終ステップとして、トラベルヘルスの総合編としての位置づけである。</p> <p>今後当然予想される高齢者の旅行者、持病を持った旅行者などの増加に対応できる保健・健康に関する基礎的学識を備えた人材の養成を目的としている。</p>							
<b>到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行者に健康アドバイスができる。</li> <li>・予防接種など病気の予防法を説明できる。</li> <li>・世界各国の感染症など医療情報を提供できる。</li> <li>・日本渡航医学会認定旅行健康管理者（トラベルヘルスマネージャー）の資格を取得する。</li> <li>・健康回復、維持、増進&amp;安全な旅行ツアーを企画することができる。</li> </ul>							
<b>授業の運営方法</b>							
<p>受身的な講義体系は必要最小限にして、各学生が持ち回りで司会を担当し、テーマを設定する。</p> <p>それについてクラスで文献、資料を読み、事例研究、調査、分析、プレゼンテーション、ディスカッション、課題レポート作成を行う。</p> <p>トラベルヘルス集大成として、各受講生は設定したテーマをについて論文を作成する。</p>							
<b>関連科目・知識・スキル</b>							
<p>「医学の基礎」「トラベルヘルス（基礎）」「トラベルヘルス（応用）」「医療英語」「救命救急技術」 「バリアフリーツーリズム」「ヘルスツーリズム実践研究Ⅰ・Ⅱ」</p>							
<b>成績評価</b>							
<p>受講態度、発表、レポート、参加度や積極性などを総合評価する。</p>							
<b>教科書・参考書など</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「テキストブック・トラベルメディスン」日本渡航医学会編</li> <li>・「海外で健康！知恵袋 第二版」 近代出版</li> <li>・「出発以前の海外旅行の「クスリ箱」」 講談社+α 文庫</li> <li>・「Yellow Book 2010」 CDC</li> </ul>							

## 「総合研究 I・II」 講義概要

- ・「International Travel and Health」 WHO
  - ・「ヘルスツーリズムの現状と展望」 JTBヘルスツーリズム研究所編
  - ・「ヘルスツーリズムの推進に向けて」 日本観光協会編
- その他講義中に紹介する。

### 履修上の注意事項

- ・本講義はPCを使用するので毎回持参のこと。

### 授業スケジュール

授業スケジュール（春学期15回＋秋学期15回）。

第1回 オリエンテーション

第2回～第29回

- ・トラベルヘルス総合

総論・各論

（感染症、感染予防対策、予防接種、航空医学、登山医学、海洋医学などの旅行医学）

（ヘルスツーリズム：温泉療法、森林療法、運動療法、アロマセラピーなどの健康療法）

（メタボ対策ツアー、禁煙ツアー、糖尿病キャンプなどの健康関連ツアー）

- ・研究発表

- ・関連DVD、ビデオ視聴

- ・学外教育の実施

厚生労働省検疫所見学

フィールドワーク

日本渡航医学会関連学術集会出席

ヘルスツーリズム関連学術集会出席

（交通費自己負担発生の可能性あり）

- ・学外ゲスト講師の招聘

JTBヘルスツーリズム研究所講師による

第30回 まとめ

（なお、スケジュールは状況に応じ変更される。）

### 履修希望者へのメッセージ

トラベルヘルスの集大成として、積極的に取り組んでいただきたい。